

公平な行政区「分割」見直しを



石崎たか子 議員

質問
大井本郷と永和台は、昭和61年以後、二つに分かれ別々の自治会運営をしてきた。

7月21日の総代連絡調整会で大井総代から意見書を添付して分割の発言があった。

意見書では「もう既に行政区が分割されていると同じ体制になっていることから考えても、大井町は本郷と永和台の二つに行政区を分割することが、総代制度移行の目的の一つ、公平な措置であると考えられる」と述べられている。

まだ、100戸にも満たない行政区が多数あることも事実

で、同時にこの集約化をさらに進めていくことも希望している。

行政区長として、市のパイプ役でもある総代からの発言を市側はいかに受けとめたか。

市長

当面は現状の方針で進めたということとを訴えたいし、総代会の場でもその旨の報告をした。

質問

総代は「この制度を実施した目的は、組織の簡素化、4

地区の情報交換の推進、行政区に対する格差是正、公平化などであるが、再度、内容を見直す時期に来ている」と言っていた。

総代よりの問題提起に、市長が認めなければ、総務省管区行政評価局に行政不服

審査の申し出をしていくように思っている。再度着手しないのか。

市長

市の方針は私の考え方と同じである。総代制移行の関係については、各総代会でいま

永和出張所の存続を求める

質問

平成26年、新庁舎の完成、統合に合わせ3支所の設置、

2出張所の廃止が打ち出されている。先般、永和学区4総代が永和出張所の存続を願

い、署名運動が進められ、5千105人の署名を市長に手渡された。

国道1号線南側の善太新田町から本庁までは、関西線の踏切を越えなければならず、高齢者にとっては、全く酷な行政と言わざるを得ない。住民の願いをぜひ、聞き届けてほしいが。

永和出張所



総務部長

大井町、大野町、鰯江町、善太新田町から署名が市へ提出された。永和出張所は今まで56年が経過している。確かに統合庁舎と永和学区との距離的な問題もあるが、これからの行政サービスを一層充実させていく中で、統合庁舎へという考えで計画を進めている。

その他の質問

・避難所建設に伴う助成は